



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151（代表）

担当者の所属・氏名：小児科 長谷川 大輔

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 小児科 長谷川 大輔

# 当院で小児がん治療後に続発がんと診断された方を 対象とした臨床像および予後因子探索に関する研究

## 1.研究の対象

2001年1月から2024年3月に当院で小児がん治療後に生じた続発がんとして診断された方

## 2.研究の目的・方法

小児がんの治療成績は向上しており8割以上の方が長期生存されています。一方で、治療後も何らかの慢性的な健康問題（晩期合併症）を抱えるという報告があり、晩期合併症は大きな問題です。続発がんは生命に関わる重大な晩期合併症で、最初のがんの診断から10年で約1%、20年で約2~3%、30年で約5%と年々増加することが知られています。続発がんの発生には最初のがんの治療内容や患者さんが持つ体質などが関係すると考えられていますが、続発がんの治りやすさを予測する因子（予後因子と言います）は明らかではありません。今回、当院で診断された続発がんの患者さんについて調査することで続発がんの予後因子を明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年4月15日を予定しております。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

カルテ番号、最初のがんの種類・治療内容、続発がんの種類・治療内容、経過、等